

# R3年度 生出小学校 通学路対策箇所図

## 【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・警察署生活安全課(警・交)

(生出小2)

片側1車線の道路で歩道が狭い。雨の日に傘をさして、大型車が横を通過すると傘と車両が接触しそうになり、危険である。

<対策内容>

- ・速度・駐車禁止の標識の増設(警・交)

(生出小1)

車両の通行が多く、速度も出している道路を、通学のために1年生が横断しなければならない。信号機も、横断歩道もなく、車両通行の合間をぬって横断する必要がある。

<対策内容>

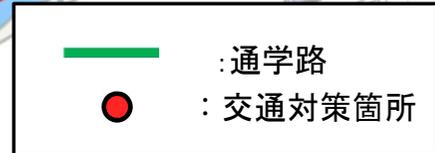
- ・児童への安全指導と保護者への啓発(学)
- ・横断歩道設置の検討(警・交)

(生出小3)

路線北側には防護柵があるが、ENEOSより南側はないため、危険である。外側線が消えており、歩行者が歩く範囲がわかりづらいため危険である。

<対策内容>

- ・防護柵の設置を可能な範囲で検討(道)
- ・外側線の引き直しを検討(道)



70m